

区自治協議会提案事業 事業評価書

南区自治協議会第2部会

区分	内容
テーマ・事業名	◆南区家族ふれ愛事業 ◆南区出会いの場づくり事業 【事業費予算 1,250千円】
事業目的・概要	◆南区家族ふれ愛事業の11年目として、児童・生徒の絵画・川柳展を行い、「家族ふれ愛月間」のさらなる定着を図る。 ◆少子化対策、晩婚化・未婚化対策、定住化の促進を目的として、独身の男女を対象に、南区での出会いイベントを開催する。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	◆南区家族ふれ愛事業 ○南区「家族ふれ愛月間」絵画展、標語・川柳展の開催 ■日時: 令和4年11月1日(火)～11月17日(木) ■会場: 白根学習館1階 交流広場 絵画展/標語・川柳展 展示総数: 531点 ・(絵画) 南区内小学校4年生の児童232人から出品があった。 ・(標語・川柳) 南区内中学校1年生の生徒299人から出品があった。 ※地区文化祭、地域生活センターで絵画・川柳展示 展示箇所: 庄瀬、臼井、大通、月湯地区 ◆出会いの場づくり事業 ○「サルナートdeクリスマスパーティー」の開催 ■日時: 令和4年12月11日(日) 午後2時から ■会場: サルナート 参加者: 男性20人, 女性19人 ※8組のカップル誕生(うち南区在住: 男性3人、女性1人) ・ゲーム大会等により交流を図り、カップリングを行う婚活イベントの実施。
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	◆南区家族ふれ愛事業 【評価】 ○南区「家族ふれ愛月間」絵画展、標語・川柳展 ・学校により差があるが、全体的に多くの子どもたちからの出品があり本事業が浸透している。 ・新たな取組みとして、部会員が賞選考を行い、オリジナルの賞名を付けて展示したことで、子どもたちの喜びややる気にも繋がった。 ・アンケートでは、「あたたかい家族の様子が感じられほっこりした気持ちになった」「我が子の描く家族の絵はなかなか見れないのでよかった」などの感想が寄せられ、家族ふれあいの意識づけの機会となっている。また「今年も楽しみにしてきた」など、本事業に期待する声もあり定着が図られている。 【課題及び今後の取組】 ・作品回収時に提出が間に合わない学校もいくつかあり、できれば回収日をもう少し延ばした方がよい。 ・対象や募集方法など事業内容を見直し、さらにブラッシュアップしながら継続していく。 ・学校と連携した貴重な事業であるので、その繋がりをもっと強化できるようなアピールをしたほうがよい。 ◆出会いの場づくり事業 【評価】 ・感染症対策を徹底しながらも交流を図るイベント内容とし、8組のカップルが誕生した。 ・アンケートでは、ほとんどの参加者が「参加して気持ちが前向きになった」と回答している。 【課題及び今後の取組】 ・円卓での会話が聞き取りにくく、グループでの会話は難しいように感じたという意見があった。 ・6年間継続し、部会事業として一定の成果があった。今後は他の団体等で実施していったらう方向も考えられる。
備考	